

令和6年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

施策の方向性	関係課・関係団体 (集約・報告)	令和6年度		令和6年度		評価					課題と今後の方向性	
		実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	R6		
基本方針① 気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。	丹波市(県を含む)ならではの文化ホールイベントの充実	■市民のニーズや目的に合った特色ある文化ホールイベントの充実を図る。	丹波の森公苑	継続	●丹波の森公苑(県)主催自主事業、シューベルティアーデたんば(ホールコンサート、街角コンサート、ふるさと音楽ひろば、キン・コン・カン・コンサート)を実施する。	【自主事業】 ・ホールコンサート1事業(スーパーキッズオーケストラ クリスマスコンサート12/21)203人/R5:357人) 【シューベルティアーデたんば】 ・ホールコンサート1事業(ガラ・コンサート11/17)394人/R5:276人 ・街角コンサート10会場/R5:10会場 丹波市内6会場 ・ふるさと音楽ひろば10校/丹波市内小学校5校 ・キン・コン・カン・コンサート2校/丹波市内高等学校1校	B	B	B	A	A	自主事業のホールコンサートは前年度と比べ観客数が減少したが、シューベルティアーデたんばのガラ・コンサートは、関西フィルハーモニー管弦楽団・同合唱団などを招聘したことなどで、盛大なコンサートとなった。今後もコンサートの充実を図る。
	市民の作品展示機会の提供	■気軽に植野記念美術館に行けるように、作品発表をしたい方に展示の機会を提供する。	文化・スポーツ課	継続	●文化ホール自主事業、アマチュアアーティスト育成支援事業、映画会、ピアノ試奏会等の事業を実施する。	自主事業10事業(共催事業含む)/R5:10事業 ・アマチュアアーティスト育成支援事業 4フェスタ実施/R5:4フェスタ実施 ・映画会:3回/R5:3回 ・ピアノ試奏会2回実施 45日間 225時間 第71回:102時間 第72回:123時間 第73回:中止 /R5:3回実施 95日開催 290時間	B	A	A	A	A	令和6年度よりホール運営業務を外団体に委託したが、アマチュアアーティスト育成支援事業をはじめ、本市ならではの市民参画型の文化ホールイベントが継続できている。今後は、指定管理者制度を導入し、知見を有した団体のノウハウを最大限活用し、より質の高い事業展開を行っていく。
	鑑賞・体験がしやすい環境の充実	■文化ホールイベント(講演会等含む)での手話通訳・要約筆記・託児所等の充実を図り、鑑賞・体験がしやすい環境を整える。	丹波の森公苑	継続	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	・手話通訳(自主事業0回/総事業数10回)(貸館事業1回/総事業数35回) ・要約筆記(自主事業0回/総事業数10回)(貸館事業1回/総事業数35回) ・託児所(自主事業0回/総事業数10回)(貸館事業0回/総事業数35回)	C	C	D	C	C	ホールイベントの内容等に応じ、必要がある場合には手話通訳等の導入を図っていく。
	市民に対する周知事業の推進	■12ヶ所もみじめぐり事業等、市内の文化芸術を再認識できるように取組の充実をさらに進める。	観光課 ※観光協会 ※観光課	継続	●「もみじめぐり」と「青もみじめぐり」事業により、市内周遊と文化芸術を再確認できる取組を継続する(丹波市観光協会) ●観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信等(観光課)	・もみじめぐり 観光入込客数:64,788人 ・紅葉期以外の来訪促進を目的に、新緑の時期にも市内周遊の取組を実施 ・観光サイト「SATURDAYTAMBA」掲載記事数:20件 ・Instagram「SATURDAYTAMBA」投稿数:131件/ストーリーズ投稿数:350件	B	B	B	B	A	観光サイトやSNS等を活用し、引き続き本市の魅力を発信していく。
基本方針② 市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。	音楽コンサート事業の充実	■丹波の森 国際音楽祭 シューベルティアーデたんば(街角コンサート)の充実を図る。	丹波の森公苑	継続	●シューベルティアーデたんば「街角コンサート」を実施する。	街角コンサートを市内6地域で開催(全体で10地域)	D	D	B	A	A	引き続き、音楽を身近に楽しんでいたけよう街角コンサートを開催する。
	情報発信力の強化	■文化芸術について、自治協議会や文化継承の活動に取り組む団体情報や活動情報等を一元的に発信できる仕組みを構築し、市民が文化芸術活動に触れる機会を増やす。	市民プラザ (市民活動支援センター)	継続	●市民プラザの掲示物を充実させるほか、HPやSNSを活用し市民活動団体の活動内容や情報発信を強化する。	施設内の掲示物を定期的に変更したり、HP・SNSを活用して各団体の活動について情報発信を行った。	D	D	B	B	C	施設の特性上、文化芸術に特化した情報発信を行っていない。掲示板を活用した文化芸術活動に関する市民活動情報の発信の方法を検討していく。
	地域づくり事業の支援	■丹波市地域づくり交付金、丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金等を活用し、地域における歴史や文化芸術活動を継承するために、地域独自の取組を支援する。	市民活動課	継続	●市民が各地域の特色ある歴史や文化に触れ学ぶ活動に対して、地域づくり交付金や丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金を交付することで支援を行う。	・自治協議会の歴史をめぐる活動支援(地域づくり交付金) 9協議会 ・自治協議会の文化に触れ学ぶ活動支援(地域づくり交付金) 7協議会 ・歴史や文化芸術に関する活動支援(活躍市民によるまちづくり事業応援補助金) 4団体	D	A	A	A	A	各地域や団体が独自の取組を実施されており、住民が歴史・文化芸術に触れる機会の提供につながっているため、今後も支援を継続する。
基本方針③ 県と市の連携を進める。	県市連絡会の開催	■イベントに適した時期や事業内容が重なるため、年3回程度、県市連絡会を開催し、可能な限り連絡調整を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波の森公苑 ※丹波市	継続	●年3回程度、県市連絡会を開催し、年間の事業スケジュールの確認調整や、開催事業内容の確認、施設の管理運営に関する情報共有を行い、全体の事業バランスを可能な限り調整する。	連絡会としての開催には至らなかったが、令和6年度以降、県施設とは双方の事業計画について情報交換を意識的に行ったほか、県内文化施設が加入する兵庫県公立文化施設協議会の研修会や意見交換会等に参加し、県内施設と事業計画の情報交換等を行った。	D	D	D	D	C	県施設を含め県内各施設との連絡会や研修会に参加し、情報や課題を共有し地域文化の発展に向けての取り組みを行っていく。
基本方針④ 文化芸術の広域交流を進める。	市外のアーティスト等の舞台公演の開催	■他市で活動する劇団やアーティストの舞台公演の開催を検討する。	文化・スポーツ課	継続	●豊岡市の芸術祭等と連携し、市外の芸術文化団体の丹波市公演実現に向け、具体的調整を行う。 他市で活動が盛んな団体やアーティストの調査を行う。	未実施	D	D	D	D	D	施策の方向性に合わせた事業実施を検討する。
	美術展・展覧会の充実	■丹波アートコンペティション等の展覧会で、他市展覧会の受賞作品交流展の開催を検討する。	文化・スポーツ課 ※社会教育・文化財課	継続	●展覧会が終了している他市を調査し、受賞作家の情報提供と、交流展を通して他市との文化交流の基盤整備を行う。	丹波アートコンペティションにおいて他市の市展等の受賞作品の展示を検討したが、多くの出品があり会場面積の都合上、実現はしなかった。	D	D	D	D	D	施策の方向性に合わせた事業実施を検討する。市展の出品状況により他市受賞者を招致し、展示作品の充実を図る。
	市外のアマチュア出演者の参加促進	■アマチュアアーティスト育成支援事業に市外出演者の参加を促し、市内出演者や観客との交流やネットワークづくりを行う。	文化・スポーツ課	継続	●市内外出演者(団体)のプロフィールや情報(FBやHP)を公開し、観客が直接出演者(団体)とHPやSNSを通じたネットワークづくりに取り組む	未実施	D	D	D	D	D	施策の方向性に合わせた事業実施を検討する。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和6年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

施策の方向性	関係課・関係団体 (集約・報告)	令和6年度		令和6年度		評価					課題と今後の方向性
		実施区分	取組内容	取組結果・実績数値	R2	R3	R4	R5	R6		
基本方針① 文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。	文化芸術活動者の育成	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※関係団体	●丹波文化団体協議会、文化協会、郷土民謡保存協会の活動を、HPや広報、情報誌等を活用し、見える化を行う。	●HP、広報において団体事業の紹介や実績など掲載し、各関連団体の活動のについて市民への広報を行った。 4事業(総合文化祭、民謡のつどい、田ステ女俳句ラリー、たんば青春俳句祭) ●丹波文化団体協議会の活動広報は丹波の森公苑で実施	D	D	C	C	C	各団体とも高齢化等により、会員数が年々減少している。子どもたちや若い世代に向けての後継者を確保していくため、HPやSNSを活用して活動紹介や魅力を積極的に発信していく。	
	後継者育成に関する研修会・講演会の開催	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※関係団体	●後継者の育成が喫緊の課題となっている文化協会、郷土民謡保存会の各理事会で課題を共有し、後継者育成のために必要な取組の具体化を図る。 ●団体の既存予算内で、後継者育成研修会等を実施し、会員のモチベーションアップを目指す。	●文化協会常任理事会での協議回数 1件 ●郷土民謡保存協会会長会での協議回数 1回 各団体内において会員拡大や活動の周知に取り組んでいるが、成果には繋がっていない。	C	D	D	D	C	会員の高齢化等により、会員数の減少や後継者の育成についての課題は共有されている。 後継者育成のために必要な研修や話し合いを進めていく。	
	文化芸術活動団体への支援	文化・スポーツ課 ※文化・スポーツ課 他	●文化芸術活動を行う団体へ補助金を交付し、その活動や補助金等の取扱いについて、事務局としての支援を行う。	【丹波市】生涯学習推進団体補助金 ・補助金交付団体/3団体/R5:4団体 ・負担金交付団体/1団体/R5:1団体 R6より1団体の運営をホール運営事業者へ委託し、団体と密な連携を行い組織運営の安定と強化に繋がっている。 【(公財)兵庫丹波の森協会丹波の森公苑】 (文化活動交流会) ・丹波地域文化団体によるステージ発表(12/8)428人/R5:480人(ふるさと心をつたう丹波音楽祭) ・丹波地域音楽団体による合唱祭(11/4)542人/R5:580人(丹波地域文化フェスティバル) ・地域内の文化団体による体験コーナーや芸能発表(8/3)431人/R5:336人	A	A	A	A	A	【丹波市】各団体が継続的・積極的に活動できるよう支援していく。	
	舞台運営オペレーターの育成	文化・スポーツ課	●舞台、照明、音響、フロアの4部門のスタッフを育成するため、技術職員が講師となって全12回の養成講座を実施する。	●文化芸術に触れる機会として文化芸術体験講座「はじめの一步」としてオペレーター養成講座を2回(12講座+13講座の全25講座※補講3講座含む)実施した。/R5:1回(全16講座)実施 ●1回目:2名受講、2回目:1名受講/R5:10名受講 ●オペレータークラブZERO-IV入会2名入会/R5:8名入会	A	B	B	A	A	令和6年度より、ホール運営事業者にて講座を開催し人材育成に努めており、今後も引き続き当該事業者による講座の開催を継続する。	
	アマチュアアーティスト育成支援事業の推進	文化・スポーツ課	●ホール技術職員を含め、舞台サポートを中心に各フェスタについて、企画・運営する職員体制を整える。 ●ホール技術職員は、知識と技術向上のための研修会を実施する。	●令和6年度より、人材育成についてホール運営業務一体的に外部委託し、専門知識を持った運営事業者によるより高度かつ安定した運営体制を整えることができた。	B	D	C	C	B	今後も引き続き、ホール運営事業者による人材育成を継続するとともに、若年層を対象とした人材育成を行い将来の舞台技術の担い手の育成に取り組んでいく。	
地域研究会への事業支援	社会教育・文化財課	●各地域の郷土史研究会・史実研究会等が主体的に活動できるための事業支援を行う。	●郷土史研究会等が研究成果を広く公開、周知できる場として講座やミニ企画展等を共同で実施し、事業を支援する。	●市島民俗資料館において市島町史実研究会の研究成果を展示するとともに、市島歴史講座において、市島史実研究会の研究成果の講演を行った。展示1回、講座3回。	B	A	B	A	A	今後も郷土史研究会等との連携、研究成果を発表する機会を提供できるように支援する。	
基本方針② 文化芸術活動への参加促進を図る。	文化芸術活動の機会の提供	文化・スポーツ課	●第6回丹波アートコンペティション入賞・入選作品展(春日文化ホール)と同日に第5回の新人賞受賞者展を植野記念美術館で行い、美術館と連携しながら、若者に作品展示の場を提供し、若手育成を行う。	●新人賞受賞者展の開催(2/18~2/23) 入館者数 131人(R5:159人) ●令和6年度の取組として会期最終日には「作家交流会」を開催し作家が会場で鑑賞者と作品解説を行う場を設けた。	B	B	B	B	B	丹波アートコンペティションと同時開催で、植野記念美術館で作品展を実施する。 今後も、美術館と連携しながら、若手作家の活動支援や作品展示の場の提供、育成に努める。	
	若い世代を対象とした体験活動の機会の提供	文化・スポーツ課	●若い世代や一般市民が参加できる企画を4フェスタ毎に検討し、実施する。 ・バンドフェスタ:バンドフェスタ25th ・ピアノフェスタ:みんなのピアノフェスタ2023 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-21 ・和太鼓フェスタ:第21打!和太鼓フェスタ ●ポスターデザインを募集し、フェスタを接点とした様々な文化芸術活動の交流の場づくりを行う。	●バンドフェスタ:バンドフェスタ26th/15バンド64名出演 ジュニアステージ(小学生~高校生以下)/11バンド51名出演 ●ピアノフェスタ:ピアノフェスタ2024 1部・2部合計:独奏64名、連弾3組6名出演 ●ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-XX II /7チーム156名 ●和太鼓フェスタ:第22打!和太鼓フェスタ/8チーム57名 ●チラシポスターイラストデザイン画応募点数15点/R5:26点(バンド点5(4)、ピアノ2点(8)、ダンス5点(8)、和太鼓3点(6)) 【(公財)兵庫丹波の森協会丹波の森公苑】 【丹波の森子どもミュージカル体験塾】 ●発表公演(10/19)764人/R5:536人	C	A	A	A	A	【丹波市】アマチュアアーティスト育成支援事業は、バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓とも小学生から高校生までの若年層が出演しており、計画の推進目標の一つである「若い世代が気軽に参加できる機会の提供」が実現できている。 また、本事業は令和6年度より、ホール運営事業者へ委託し開催しており、今後も引き続き当該事業者によるフェスタの開催を継続する。	
	市民主体で実施している取組への支援	文化・スポーツ課	●たんば青春俳句祭・田ステ女俳句ラリー等、市民が主体となって実施する文化的な取組がさらにまちづくりに繋がるように支援する。	●第27回田ステ女俳句ラリー(5/12) ●第23回たんば青春俳句祭(11/28) ●出張俳句教室 延べ18校74回開催 ●俳句協会俳句募集 応募者数181人、投句数361句 ●市内小・中・高等学校での出張俳句教室。 ●会員、一般市民を対象とした俳句募集と表彰。 ●丹波の著名俳人を顕彰するため、俳人の紹介やパネル展示などを行う。	D	C	B	B	B	現在、会計事務は会員にて行われているが、職員による事務支援は引き続き行っており、会員が主体性を持って活動できるように支援していく必要がある。	
美術関連の講座の実施	社会教育・文化財課	●「友の会」との連携の中で美術関連の講座等を実施し、ガイドボランティア等の活動に繋げる。	●「友の会」の美術館めぐり研修の前に、事前研修として視察予定の展覧会の内容について鑑賞講座等を開催してガイドボランティア等の活動に繋げる。	年間2回の美術館視察研修を実施し、それぞれの展覧会の内容について事前研修として資料を作成し、参加会員の鑑賞意識の向上を図った。	D	B	B	A	B	今後も友の会と連携して、視察研修にあわせて美術関連講座を実施し、文化芸術活動への参加促進と意識向上を行う。	

基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

基本方針③ 団体同士の連携・協働を行う。	団体の交流の場づくりの推進	■文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課	継続	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。	※未実施	D	D	D	D	D	施策の方向性に合わせた事業実施を検討する。
	展覧会等による利用促進	■春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放し、分野を超えた団体が集う作品交流イベントを検討する。(仮称「丹波市文化芸術の日」事業)	文化・スポーツ課	継続	●比較的貸館の少ない時期に春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放する「丹波市文化芸術の日」として事業立案準備を進める。 ●丹波市美術作家協会等、市域で活動する文化芸術団体と協議し、丹波市文化芸術の日事業に対する理解を深める。	※未実施	C	D	D	D	D	施策の方向性に合わせた事業実施を検討する。
基本方針④ 文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行う。	文化芸術に関する交流の場づくりの推進	■文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課	継続	●文化芸術に特化したサロンや研修会を実施する。	【丹波アートコンペティション関連事業】 ・美術講座アーツスペース 2講座開催 書講座:令和7年2月2日(日) 参加者18名(「好きなことば」を色紙に書く) 写真講座:令和7年2月11日(火・祝) 参加者19名(初心者向け写真講座) 【文化芸術体験講座「はじめの一步」】 ・全9講座開催 参加者 合計115名 (開催内容) ブリザーブドフラワー、ピアノの秘密、アート体験、ランチョンマットづくり、はじめての版画、はじめての演劇体験、タップダンス、ウクレレ体験、楽器体験(雅楽)	B	B	B	B	B	美術講座「アーツスペース」は、丹波アートコンペティション関連事業として開催するものであり、各部門の審査員を講師に迎え、質の高い講座や講演会を実施している。今後も引き続き事業を継続することで、文化芸術に対する関心の拡大や丹波アートコンペティションの出品者ならびに観覧者の増加へと繋げていく。 文化芸術体験講座「はじめの一步」は、文化芸術について幅広いジャンルの講座を展開し、気軽に体験できる第一歩を踏み出せる機会を提供していく。
	若い活動者の発表・展示ができる環境の整備	■若手作家を紹介する仕組みや、作家のアトリエシリーズ等を企画する。	社会教育・文化財課	継続	●「友の会だより」に若手作家や作家のアトリエを紹介する記事を掲載する。	・友の会だよりにてUEBIART展記事を掲載し、丹波市出身の若手作家及び丹波市内で活躍する作家とその作品、アトリエの様子を紹介した。	A	A	A	A	A	今後も若手作家や丹波ゆかりの作家の紹介をおこなう。また、若手芸術家の育成のために、研修室を利用した作品展や、市内在住の芸術家による作品指導を行う機会を設ける。
基本方針⑤ 市の中心地域に文化芸術の鑑賞・活動を行うことができる施設の整備を図る。	文化ホールの施設整備	■春日文化ホールが使用不能となり、また、ライブピアいちじまが老朽化により建替えの必要が生じた際に、市の中心地域に新たに文化ホールの建設も含めた検討を行う。(丹波市生涯学習施設整備方針[適正配置計画]※平成25年2月策定)	文化・スポーツ課	継続	●2ホールの適正な維持管理を行う。 ●備品購入、簡易な工事・修繕は、優先順位を決め、計画的に行う。 ●維持管理のために必要な保守点検業務は、分野ごとに一括発注する等、可能な限り合理化を図る。	・機器設備の定期保守点検や、計画的な簡易修繕を実施し安定した施設の維持管理行い運営に支障をきたす大規模な不具合は発生していない。 【修繕】 ・春日 2件 ・ライブピア 4件	A	A	A	A	A	定期的にホールの保守点検、点検による修繕を実施し、2ホールの適正な維持管理を行う。
	住民センターの施設整備	■「適正配置計画」に基づき、市民の日常的な生涯学習の場や地域づくり活動の場として、現行の施設の安定した維持管理を行う。	市民活動課	継続	●利用者の安全のため住民センターの適正な維持管理を行う。 ●大規模な工事・修繕は、優先順位を決め、計画的に行う。 ●維持管理のために必要な保守点検業務は、分野ごとに一括発注する等、可能な限り合理化を図る。 ●予防保全を基本とし、設備等の更新を計画的に実施する。	【工事・修繕】 ・工事11件 修繕71件 【保守点検等】 ・住民センターのほか、スポーツ施設や庁舎等の一部の保守点検業務について集約の上一括発注し、部全体として契約事務の効率化を行った。	B	B	B	B	B	各施設とも老朽化が進み設備等の不具合が多くなってきていることから、個別施設計画に基づき計画的に大規模改修、長寿命化工事を行っていく必要がある。 予防保全を基本として設備の更新を計画的に実施する。
基本方針⑥ 丹波市(県を含む)ならではの舞台芸術等に磨きをかける。	丹波市ならではの文化ホールイベントの開催	■本市の特徴的な分野やレベルに特化した取組をさらに進める。特にアマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓)は「丹波市完全オリジナル企画」としてPR・開催する。	文化・スポーツ課	継続	●各種後援や協賛、協力依頼を行い、丹波市完全オリジナルな部分である「アマチュアの出演者、舞台スタッフによる市民参画型のフェスタ」を全面的出した広域的な広報を積極的に行う。 【後援】丹波市教育委員会、丹波文化団体協議会、丹波市文化協会、丹波市音楽協会、丹波市観光協会、丹波新聞社、神戸新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、両丹日日新聞社 【協賛】藤本印刷㈱、(有)光陽堂楽器、(有)ロータリー楽器、(株)ハートラベル、(株)タンバシベルグ	・広報物の充実/ポスターデザインを一般募集し、各フェスタの宣材物のオリジナリティを高め、公共施設に配布した。 ・協賛実績/藤本印刷(R5:藤本印刷)	A	A	A	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業における、本市ならではのホール事業については、令和6年度より、ホール運営事業者へ委託し継続実施している。 事業のPR活動(ポスターやチラシの配布、広報誌への掲載など)は、担当課とホール運営事業者で連携を図りながら引き続き実施していく。 ホール運営事業者による、各種SNS媒体を活用したPR活動により、広域的な広報周知が図られている。
	シューベルティアーデたんばの充実開催	■シューベルティアーデたんば(ガラ・コンサート)をより身近な取組として実施する。	丹波の森公苑	継続	●シューベルティアーデたんば30周年を記念し、関西フィルハーモニー管弦楽団や関西フィルハーモニー合唱団等を招聘し「ガラ・コンサート」を実施する。併せて、丹波の森公苑ホール前芝生広場で「世界を旅するマルシェ」を同時開催する。	・シューベルティアーデたんば30周年を記念し、関西フィルハーモニー管弦楽団・同合唱団などを招聘し盛大にガラ・コンサートを開催 ・同時開催として丹波の森公苑ホール前芝生広場で「世界を旅するマルシェ」を開催し賑わいを創出した。	D	A	A	A	A	引き続き、ガラ・コンサートが盛大となるよう取組を進める。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和6年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

施策の方向性	関係課・関係団体(集約・報告)	令和6年度		令和6年度		評価					課題と今後の方向性	
		実施区分	取組内容	取組結果・実績数値	R2	R3	R4	R5	R6			
基本方針① 普段の生活の中で、子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。	プロの演奏家との共演	■プロの演奏家を招き、子どもたちの共演を行う。(プロの演奏家+市内中学校吹奏楽部等の共演)	文化・スポーツ課	継続	●毎年恒例となったブラック・ボトム・プラス・バンド公演を市内中学校(2から3校に増やす)吹奏楽部とのコラボ演奏を行う。 ●公演前に、コラボ曲の演奏指導(ワークショップ)を行い、より充実した内容で実施する。市民参画型事業。	【県民芸術劇場BBBB】 10月13日(日)開催 ・コラボ演奏(当日)／氷上中36名、市島中12名、春日中18名 計66名/R5:氷上中33名、市島中14名、春日中20名 計67名 ・ワークショップ/コラボ演奏事前ワークショップ3回(各校1回) /R5:3回(各校1回) ・アウトリーチ公演(9/26)／吉見小学校全校生徒を対象とした芸術鑑賞会(新規事業)	A	A	A	A	A	優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会として、今後も継続していく。また、プロの演奏家による演奏指導(ワークショップ)も継続して実施する。新たな取り組みとなった小学校公演(アウトリーチ)では、楽器の役割や音楽の楽しみ方などを紹介し、自由なスタイルで音楽を聴くことができ、生の演奏を全身で感じることができる演奏会となり、このような子どもたちの記憶に残るような体験事業を継続して実施する。
	アマチュアアーティスト育成支援事業の推進	■アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド・ピアノ・ダンス・和太鼓)の取組を行う。	文化・スポーツ課	継続	●若い世代や一般市民が参加できる企画を4フェスタ毎に検討し、実施する。 ・バンドフェスタ:バンドフェスタ25th ・ピアノフェスタ:みんなのピアノフェスタ2023 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-21 ・和太鼓フェスタ:第21打!和太鼓フェスタ	・バンドフェスタ26th/15バンド64名出演 入場者1部330名、2部250名、合計580名/R5:15バンド62名出演 入場者1部340名、2部270名、合計610名 ・ピアノフェスタ2024/1部・2部合計:独奏64名、連弾3組6名出演・合計入場者358名/R5:1部26名出演・入場者106名、2部36名出演・入場者173名、合計62名出演・入場者279人 ・ダンスフェスタACT-X X II /7チーム156名出演 入場者520名/R5:10チーム157名出演 入場者534名 ・第22打!和太鼓フェスタ/8チーム57名出演 入場者491名/R5:7チーム60名出演 入場者528名	A	A	A	A	A	アマチュアアーティスト育成支援事業は、出演者と裏方スタッフが共に創り上げる事業となり、若い世代が参加することで身近で鑑賞しやすい環境となっている。YouTubeでの限定ライブ配信も行い、会場に足を運べない関係者に対しても舞台の映像を届けることができている。バンドフェスタでは水上西高校の生徒による司会進行や柏原高校ギター部によるジュニアステージの運営を、ピアノフェスタでは福知山成美高校の生徒による司会進行を、ダンスフェスタでは観客も参加できるエンディングステージを、和太鼓フェスタでは入場時に観客による一打入場を実施し、幅広い世代で、出演者だけでなく観客も楽しめる事業展開となった。本事業は令和6年度より、ホール運営事業者へ委託し開催しており、今後も若い世代や一般市民が参加できる4フェスタを継続して開催する。
	子ども・若者対象のイベントの開催	■高校生企画(卒業ライブ)、ライブピアノDEクリスマス、0歳からのコンサート等、幼児から若者対象の取組をさらに進める。	文化・スポーツ課	継続	●子どもや若い世代を対象としたイベントを充実する。 ・高校生企画:卒業ライブ1事業 ・ライブピアノDEクリスマス:クリスマスコンサート1事業 ・0歳からのアフタースーンコンサート実施(別項目に記載)	・高校生企画「卒業ライブ」1事業/3月20日(木・祝) 来場者208人 ・ライブピアノDEクリスマス「クリスマスコンサート」1事業/12月21日(土) 来場者375人 ・0歳からのアフタースーンコンサート実施(別項目に記載)	B	B	B	B	B	高校生企画「卒業ライブ」や子どもを対象とした「クリスマスコンサート」は、毎年実施しているものであり、本市の定着事業として一定の効果を上げている。6年ぶりに開催することとなった「0歳からのコンサート」は、「子育てアートサロン事業」と連携することにより、市内の子育て学習センターの利用者を中心に、子育て世代が文化芸術に触れる機会を提供することができた。今後も、子どもや若い世代を対象としたイベントの開催を充実させていけるよう、取り組みを考える。
	シュベールティアーデたんばの充実	■シュベールティアーデたんば(街角コンサート)の充実を図る。	丹波の森公苑	継続	●シュベールティアーデたんば「街角コンサート」を実施する。	街角コンサートを市内6地域で開催(全体で10地域)	D	C	B	A	A	引き続き、音楽を身近に楽しんでいたけよう街角コンサートを開催する。
	美術館の団体観覧の充実	■学校単位の団体観覧だけでなく、PTA・子ども会行事等での観覧機会を増やし、学びの場を提供する。	社会教育・文化財課	継続	●学校単位の団体観覧だけでなく、PTA・子ども会行事等での観覧機会を増やし、学びの場を提供する。	・認定子ども園・小中学校・教育施設による団体観覧:17回	B	B	B	A	B	手塚治虫やジャガールなど、著名な作家による展覧会があったため団体観覧は多数受け付けたが、PTA・子ども会行事での団体観覧は0件であった。今後PTA行事・子ども会行事での団体観覧利用について周知の方法を考える。
基本方針② 学校教育で、優れた文化芸術に身近に触れ、感じる力(まごころ・愛着・想像力・創造力)を育む。	伝統文化や伝統芸能への子どもが参加できる環境整備	■地域づくり事業を通じて、伝統文化や伝統芸能の継承を行い、子どもたちが積極的に参加できるよう、地域との関わりをさらに充実させる。	文化・スポーツ課 ※各団体 ※各地域	継続	●伝統芸能に係る講座などを実施し、子どもたちが積極的に参加できるようなプログラムにする。	・「歴史文化体感フェスタin丹波Part II～五感で楽しむ伝統文化～」(主催:歴史文化体感フェスタin丹波実行委員会)を共催し、子どもたちを対象とした日本の伝統文化に関する体験講座(能楽体験、黒井おどり、雅楽、華道・茶道、丹波杜氏麹文化、香道、郷土料理)を開催し、子どもたちに伝統文化や郷土への愛着や誇りを育む事業展開を行った。 延べ参加人数 高校生以下554人、大人124人 ・文化芸術体験講座として、「雅楽体験講座」を開催した(R6:7名)	D	D	D	D	B	伝統芸能や、伝統文化の保存、継承していくために、子どもたちや若い世代が参加できる講座を開催していく。今後も伝統芸能や伝統文化を保存、継承を目的とした、子どもたちが興味を持てる事業を開催していく。
	アーティストの学校への派遣	■シュベールティアーデたんば等で学校へのアーティストの派遣をさらに充実させる。 小学生:ふるさと音楽ひろば 中学生・高校生:キン・コン・カンコンサート	丹波の森公苑	継続	●シュベールティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カン・コンサート」を実施する。	・ふるさと音楽ひろば10校/丹波市内小学校5校 ・キン・コン・カン・コンサート2校/丹波市内高等学校1校	B	A	A	A	A	引き続き、子どもたちが音楽を身近に楽しめるよう「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カン・コンサート」を開催する。
	子どもの音楽体験教室・鑑賞事業の実施	■文化庁による「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣・巡回指導)」を活用するとともに、中学生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」に取り組む。	学校教育課	継続	●文化庁による「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」及び「文化芸術による子供育成推進事業」を活用するとともに、中学生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」に取り組む。	・文化庁「文化芸術による子供育成推進事業(芸術家の派遣・巡回公演事業)」市内小学校3校(R5:2校) ・わくわくオーケストラ教室実施校 市内全中学校(6校)	D	B	B	B	B	文化庁の事業は、昨年度よりも実施校が1校増加した。申し込みについて、WEBによる申請となったものの、依然として芸術家との調整や申請書類の作成等が複雑であることから、学校の負担感が大きい。 わくわくオーケストラ教室は、移動にかかるバスの確保に課題はあるが、95%以上の生徒が参加して良かったと肯定的に回答しており、有用な事業として継続していく。
	ふるさと教育の充実	■たんばふるさと学(生活科・総合的な学習の時間等)の充実を図る。	学校教育課	継続	●学校支援コーディネーターを中心に、各小学校で実施時期や方法を工夫し、実施する。 ●地域のゲストティーチャーから「ふるさとの良さ」を学ぶ。	・各小学校で実施時期や内容を工夫しながら地域人材が活躍できる場面を設定することができた。 ・総合的な学習の時間を中心に、地域の伝統芸能や祭り、歴史等についてゲストティーチャーから学ぶ機会をえることができた。 【指標】 ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。85%(R6小学校) ※R4から質問内容が一部変更	B	B	B	B	B	たんばふるさと学の取組を通して、児童生徒が地域に関わることが増え、地域について考える機会を持った。地域の方と児童が顔見知りとなり、児童が主体的に活動に参加することができた。指標についても、昨年度の類似質問項目と比較し、高い結果となっており、今後も地域のゲストティーチャーに学ぶ機会を確保していく。 学校統合により、校区が広がった小学校において、地域学習にかかる校外活動を行うにあたっての移動距離や時間の確保が課題となっている。公用バスを計画的に利用するなど、工夫に努めている。
	社会科副読本を活用した地域学習の充実	■社会科副読本(わたしたちの丹波市)を活用し、社会科学習において地域学習の充実を図る。	学校教育課	継続	●副読本を活用するとともに地域にある伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術を題材とした学習内容を充実させる。 ●時代に即した内容になるよう改訂作業を行う。	・地域の伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術の学習に副読本を活用した小学校 20校 (R5: 21校) ・小学校4年生において地域の伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術に関わる授業を行った時間数 12時間 (R5: 12時間)	B	B	B	B	B	社会科副読本や子ども向け市勢要覧「知ってっこお?丹波市ハンドブック」を活用し、本市の現状にあった学習内容を学ぶことができています。今後は、より効果的に指導していくための教職員の指導力向上を図っていく。 令和6年度に社会科副読本の内容を一部改訂している。引き続き、地域学習の充実が図られるよう、副読本の活用推進に努める。

令和6年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

施策の方向性		関係課・関係団体 (集約・報告)	令和6年度		令和6年度		評価					課題と今後の方向性
			実施区分	取組内容	取組結果・実績数値		R2	R3	R4	R5	R6	
基本方針① 伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行う。	保存・継承に対する理解の促進	■若い世代へ祭り等の意義等を伝承し、保存・継承を行う。	文化・スポーツ課 ※関係団体 ※各地域	継続	●伝統芸能や、伝統文化の保存、継承していくために、若い世代に関心を持ってもらえるような講演会や講座などを開催する。	「歴史文化体感フェスタin丹波Part II～五感で楽しむ伝統文化～」(主催:歴史文化体感フェスタin丹波実行委員会)を共催し、子どもたちを対象とした日本の伝統文化に関する体験講座(能楽体験、黒井おどり、雅楽・華道・茶道、丹波杜氏麴文化、香道、郷土料理)を開催し、子どもたちに伝統文化や郷土への愛着や誇りを育む事業展開を行った。 延べ参加人数 高校生以下554人、大人124人	D	D	D	B	B	伝統芸能や、伝統文化の保存、継承していくために、子どもたちや若い世代が参加できる講座を開催していく。 今後も伝統芸能や伝統文化を保存、継承していくための取組を継続していけるよう検討する。
	地域への参画	■職員自らが一人の市民として積極的に地域に参画・貢献する。	文化・スポーツ課 ※市職員	継続	●集約地域の伝統芸能や伝統文化の保存、継承のため、職員が一人の市民として積極的に地域に参加・貢献できるようなメニューづくり。	具体的なメニューなどの作成には至っていないが、丹波市職員憲章において「地域の一員として地域活動に積極的に参加する」旨を定めており、職員各自の地域参加を通じて地域の伝統芸能や文化に関わる土壌が形成されている。	D	D	D	D	C	引き続き、職員が市職員であるとともに地域の一員として積極的に地域活動への参加を奨励していく。
	伝統芸能・伝統文化の活用	■若い世代が参加しやすい環境の整備を行い、伝統的な芸能や文化を大切に活用する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	継続	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	アンケート調査等は行うことはできなかったが、市で事務局を担う丹波市俳句協会において、市内小中高校への出張俳句教室を延べ18校74回に渡り開催し、青少年に対し日本の伝統文化である「俳句」に触れる機会を提供した。	D	D	D	D	A	引き続き、青少年など若年層へ日本の伝統文化や郷土芸能に触れる機会を提供し、豊かな感性と郷土への誇りを育んでいく。
	伝統芸能・伝統文化の観光資源としての活用	■伝統芸能・伝統文化等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	継続	●市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよみち旅」)の時点修正、増刷し、配架(観光課) ●丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ●丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信	・パンフレットの内容の時点修正を実施。年間40,000部を増刷し、市内観光地やイベント等で配布 ・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信を行った。	B	B	B	B	A	観光サイトやSNS等を活用しながら、引き続き本市の魅力発信と市内周遊の促進を図っていく。
基本方針② 文化財(技術を含む)の保存・継承・活用を行う。	文化財等の保存・継承・活用	■文化財等を積極的に活用することで、保存・継承に繋げる。	社会教育・文化財課 ※各地域	継続	●歴史文化遺産を次世代に継承していくため、古文書などの歴史資料の調査を行う。	神戸大学大学院人文学研究科との連携により、地域に残る古文書等の調査を行った。 ・歴史資料調査実施数 R6: 7件/R5: 5件/R4: 7件	A	A	A	A	A	今後も継続して古文書などの歴史資料の調査を行い、資料の保存・継承に務める。
	文化財等の観光資源としての活用	■文化財等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	継続	●丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ●丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信 ●全国山城サミット(於:益田市)に出展し、黒井城跡や他の城跡の魅力を全国に発信 ●春日忌(於:文京区)及び文京梅まつり(於:文京区)に出展し、春日局ゆかりの地丹波市をPRする。	・全国山城サミット(於:益田市)に出展し、黒井城跡をはじめとする市内城跡の魅力をPRした。 ・春日忌及び文京梅まつり(於:文京区)に出展し、パンフレット配布・SNSフォローキャンペーンを実施	B	B	B	B	B	今後も全国規模の城跡イベント出展を通じ、城跡を核とした本市の魅力発信に取り組む。 春日忌及び文京梅まつりへは、関東エリアに向けたPRの絶好の機会であることから、引き続き出展し、本市の認知度向上を図っていく。
	文化財等を活かした作品等の集積・展覧	■丹波布や稲畑人形等の文化財を活かした特徴ある展覧会を企画し、保存・継承へと繋げる。	社会教育・文化財課 ※関係団体	継続	●文化財を活かした企画展を開催する。	柏原・春日歴史民俗資料館において企画展を実施した。 ・柏原歴史民俗資料館(柏原藩陣屋跡) 丹波市立ミュージアム合同企画展 1回 ・春日歴史民俗資料館 ミニ企画展 2回	B	B	A	A	A	今後も他館と連携しながら様々な企画展を開催する。
	資料館の整理統合	■水分け資料館のリニューアルの実施、並びに各資料館の整理統合と併せて、市内に点在する文化財等の保存の充実を図る。	社会教育・文化財課	継続	●出土遺物の整理を行うとともに、一元的に管理できる保管場所について検討を行う。	・出土遺物の整理を段階的に行った。 ・出土遺物を一元的に管理できる保管場所について、市の重要課題として提案し検討を行った。	A	A	B	A	B	今後も出土遺物の整理を段階的に行うとともに、一元的に管理できる保管場所の検討を継続する。
	文化財保護の意識高揚	■歴史遺産を残していくために、市民の関心や保護意識の高揚を図る事業を展開する。(文化財保存活用地域計画の策定等)	社会教育・文化財課	継続	●市民に対し、身近な地域の歴史遺産に触れる機会を提供する。 ・調査結果に基づく歴史講座の開催 ・企画展関連講座の開催	・神戸大学大学院人文学研究科との連携により、地域に残る古文書等の調査に結果に基づく歴史講座を開催した。(年6回) ・慧日寺の美術工芸品調査を実施した。	B	B	A	A	A	今後も身近な地域の歴史遺産に触れる機会を提供するため、大学や地域、団体と連携して歴史講座を開催する。 また、引き続き慧日寺の美術工芸品調査を継続する。
文化財等の保存・整備事業への支援	■文化財等の保存・整備に対する補助金交付施策の充実を図る。	社会教育・文化財課	継続	●指定文化財保存整備事業を実施する。	指定文化財保存整備等の補助事業数 R6:9事業/R5:11事業/R4:3事業	D	B	B	A	A	今後も要望のあった補助事業等について補助金を交付し、文化財の適切な維持管理ができるように支援する。	

基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

基本方針③ 文化的資源を新たに発掘・活用する。	文化的資源の観光資源としての活用	■新たな文化的資源を発掘すると共に、磨きをかけて、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	継続	●市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよりみち旅」)の時点修正、増刷し、配架(観光課) ●「丹波青もみじめぐり」「もみじめぐり」で市内周遊を促す。(丹波市観光協会)	・パンフレットの内容の時点修正を実施。年間40,000部を増刷し、市内観光地やイベント等で配布 ・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」やSNSでの積極的な情報発信を行い、市内周遊を促した。	B	C	C	C	B	観光サイトやSNS等を活用しながら、引き続き本市の魅力発信と市内周遊の促進を図っていく。
	歴史的な建物等の活用	■歴史的な建物や街なみを活用したアート展等の開催を検討する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	継続	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	アンケート調査等は行うことができなかったが、5月に柏原地域で開催した「田ステ女俳句ラリー」においては、柏原地域の歴史的な建造物や街なみを活用した俳句ラリーを行い、市内外から俳句ファンが訪れるきっかけとなっている。	D	D	D	D	B	引き続き、「田ステ女俳句ラリー」ほか、市内の歴史的建造物などを活用した事業の展開を行っていく。
	文化的資源の学習機会の検討	■気軽に文化的資源を観ることができる学習機会を企画・検討する。	市民活動課 ※市民活動課他	継続	●無形文化財である丹波布の技術について市内外にPRするとともに、親しみも持ってもらえるよう、以下の事業を実施する。 ・丹波布短期体験教室(9/19～9/23) ・糸紡ぎ体験、織り体験(通年) ・市HP,市公式LINE・Facebook等による丹波布のPR	国の選択無形文化財である丹波布の魅力を生かして市内外に発信する手法の一つとして、市ホームページに丹波布伝承館オリジナルページを作成し、丹波布伝承館の情報にアクセスしやすいようにした。また、丹波布の魅力に直接触れてもらう機会として以下の体験教室を開講した。 ・丹波布短期体験教室(9/11～9/15) 10人 ・糸紡ぎ体験、織り体験、草木染体験、染教室 延123人	D	B	B	B	B	国の選択無形文化財である丹波布の技術保存のため、丹波布の魅力を生かして市内外に広く発信し、関心をもつ人を増やしていくとともに、気軽に参加できる体験教室の開催を通して丹波布伝承館への来館者増を図る。また、民芸誕生100年を迎え、丹波布が取り上げられる機会が多くなっていることから、関心や認知の高まりを活かす方法を検討する。
	文化的資源の情報提供の仕組みの検討	■市民リポーターから文化的資源(景観・祭り・人等)の情報提供を得る仕組みを検討する。(例:インスタ映えスポット)	総合政策課 ※総合政策課他	継続	●市民リポーターの対象を見直し、セミプロなど写真得意とするリポーターから文化的資源(景観・祭り・人等)にかかる魅力的な写真を提供いただき様々なツールで紹介することで、丹波市の魅力を市内外に発信する。	市民リポーター制度を見直し、各種広報媒体で使用する風景写真やイラスト、その他情報発信に協力いただく「市民広報サポーター」導入に向けた検討を行った。	B	B	B	D	C	各種広報媒体で使用する風景写真やイラスト、その他情報発信に協力いただく「市民広報サポーター」との調整を図り、市の魅力発信の強化につなげる。
	芸術家・文化人の顕彰	■ゆかりの深い芸術家・文化人の作品展示や活動紹介等により顕彰を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	継続	●丹波市ゆかりの芸術家や文化人の作品や活動内容等を調査集約する。	令和6年度においては、複数の方々から俳人細見綾子ゆかりの資料の寄贈を受けた。 寄贈品については、「丹波市俳人細見綾子生家」において、展示を行い、細見綾子の功績をより明らかにすることにつながった。	D	D	D	D	B	引き続き、俳人細見綾子に関する資料の収集や調査を行い、顕彰活動を続けていく。
基本方針④ 情報発信を積極的に行う。	ビデオを活用したプロモーションの実施	■ビデオ媒体を活用し、本市の多様な文化芸術のPRを行う。	文化・スポーツ課	継続	●文化芸術推進プロモーションビデオ等を各住民センター、美術館、資料館等で放映する。	文化芸術推進プロモーションビデオ等を各住民センター、美術館、資料館等で放映する。	A	A	A	A	A	文化芸術推進プロモーションビデオに加え、ホール事業のPRビデオを随時放送している。 ホール事業のPRビデオについては、文化芸術推進基本計画の第二期計画策定(R12～)に合わせて新しい映像にすることを検討する。
			観光課	継続	●道の駅丹波おばあちゃんの里の観光情報センターや観光課で放映し、併せてYouTubeでも掲出を継続する。	・丹波市公式YouTubeで動画を掲出	B	A	A	A	B	放映可能な場所の確保が課題。新たな放映先を検討するとともに、YouTubeでの掲出は、引き続き継続する。
	情報発信手段の検討	■新たな情報発信手段を検討する。	丹波市:総合政策課、文化・スポーツ課、観光課他 丹波市教育委員会:植野記念美術館、社会教育・文化財課	拡充	【総合政策課】 ●広報たんば、市ホームページリニューアル、SNS連携、防災行政無線放送、FM805たんば、報道関係者への資料提供で情報発信する。	【総合政策課】 ・広報たんば、市ホームページ、SNS、防災行政無線放送など各種広報媒体の特性を生かし、複数の媒体を組み合わせることで、より「伝わる」広報活動を展開した。中でも、開封率が最も高いとされる公式LINEの友だち登録者数を人口の3割(2万人)まで増やし、広報紙、ホームページと並ぶ広報媒体とするため、公式LINEによる防災行政無線情報の提供やセグメント配信の導入、プレゼント企画などを行った。	B	B	B	A	A	【総合政策課】 ・市ホームページのリニューアルによりID検索機能が追加されたことを受け、広報紙にもQRコードとあわせてページIDを明記し、各種媒体を連携させることで広報力のさらなる強化を図る。
				継続	【文化・スポーツ課】 ●Youtubeによる丹波アートコンペティションネットギャラリー動画配信。	【文化・スポーツ課】 ・Youtubeによる丹波アートコンペティションネットギャラリー動画を配信。	A	A	A	A	A	引き続き、丹波アートコンペティションの作品展示の様子を「ネットギャラリー」として、動画配信を行う。
				継続	【観光課】 ●観光サイト「SaturdayTamba」のInstagramで、積極的に丹波市の情報発信。 ●デジタルマップ「丹波マップ」を活用した効果的な情報発信。	【観光課】 ・デジタルマップ「丹波マップ」のポスター及びチラシを作成し、周知活動を実施した。 ・デジタルスタンプラリーを実施し、「丹波マップ」を周知するとともに市内周遊を促した。	B	B	B	B	B	「丹波マップ」のサブマップ機能を活用し、イベント情報やあんバターサンドなど、本市の魅力をより効果的に発信していく。
				継続	【社会教育・文化財課(植野記念美術館)】 ●美術館や展覧会の展示作業等を紹介する動画を制作し、YouTubeによる配信を行う。	【社会教育・文化財課(美術館係)】 ・R6年展覧会の紹介動画及び社会教育施設合同展の紹介動画を計8本配信した。	B	B	B	A	A	今後も美術館における取組を動画や各種SNSを積極的に活用して紹介し、市民の芸術文化活動を促進する。
			継続	【社会教育・文化財課】 ●歴史講座の動画配信	【社会教育・文化財課】 歴史講座開催を開催し、YouTube動画で配信した。(6回)	B	A	A	A	A	今後も歴史講座を開催するとともに、講座受講ができなかった方のための動画配信を行い、身近な地域の歴史遺産に触れる機会を提供する。	

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった